

品質管理

1 目的

土木工事の施工に当たっては、設計図書や特記仕様書並びに土木工事共通仕様書、また各種指針・要綱に明示されている材料の形状寸法、品質、規格等を十分満足し、かつ経済的に作り出す為の管理を行う必要がある。本基準は、それらの目的に合致した品質管理の為の基本事項を示したものである。

2 品質管理基準及び規格値

目次

1 セメント・コンクリート (転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く)	P - 1
2 ガス圧接	P - 5
3 既製杭工	P - 6
4 下層路盤	P - 7
5 上層路盤	P - 9
6 アスファルト安定処理路盤	P - 13
7 セメント安定処理路盤	P - 13
8 アスファルト舗装	P - 14
9 転圧コンクリート	P - 18
10 グースアスファルト舗装	P - 22
11 路床安定処理工	P - 25
12 表層安定処理工 (表層混合処理)	P - 26
13 固結工	P - 26
14 アンカー工	P - 27
15 補強土壁工	P - 28
16 吹付工	P - 29
17 現場吹付法砕工	P - 31
18 河川・海岸土木	P - 32
19 砂防土工	P - 34
20 道路土工	P - 34
21 捨石工	P - 36
22 コンクリートダム	P - 37
23 覆工コンクリート (N A T M)	P - 40
24 吹付けコンクリート (N A T M)	P - 44
25 ロックボルト (N A T M)	P - 48
26 路上再生路盤工	P - 49
27 路上表層再生工	P - 49
28 排水性舗装工・透水性舗装工	P - 50
29 プラント再生舗装工	P - 53
30 工場製作工 (鋼橋用鋼材)	P - 54
31 ガス切断工	P - 54
32 溶接工	P - 55

注) なお、各表の右欄の「試験成績表等による確認」に「○」がついているものは、試験成績書やミルシート等によって品質を確保できる項目であるが、必要に応じて現場検収を実施する。
空欄の項目については、必ず現場検収を実施する。

